

平成16年度外国語学部卒業論文

英語学科

- | | |
|--------|--|
| 阪田 希 | Dialogue between Present Evil and Theodicy through Anti-theodicy |
| 廣田 秀孝 | The Search for “White” Order |
| 久保田将史 | <u>Endgame</u> as a Domestic Play |
| 増田優里子 | From Commercialized Luxury to Individual Mobility—
A Social Psychology on American Automobiles— |
| 久保田未来子 | Web of Life in the Wilderness—An Intellectual History
of Nature Conservation in American National Parks— |
| 平石 祐哉 | 詩は現実を変えることができるか？ W. B. Yeats 試論 |
| 上村 智子 | Irish Language Education in the Republic of Ireland:
Irish as a Part of School Curriculum and as a Living
Language |
| 村田さや佳 | ユダヤ人フロンティアとしてのハリウッド—初期映画産
業と日本人イメージが作ったユダヤ人の白人性— |
| 大月 美佳 | Diversity and Homogeneity —Iranian Image Made in
Los Angeles and Japan— |
| 築瀬由未子 | Communicative Language Teaching and English
Education in Japan |
| 本間芙由子 | 語りかける歌：アメリカン・フォークソングの歩んだ道 |
| 大谷 充実 | The Optimal English Education for Children in Japan |
| 青崎悠紀子 | 「聖なる草」から「悪魔の草」へ：アメリカ大陸におけ
るタバコの歴史 |
| 堀 研人 | Survival of the Tribal Language |
| 酒井美由紀 | Focused Communication Tasks in Teaching English as
a Foreign Language in Japan |
| 高橋 李奈 | Maintenance of Australian Aboriginal Languages and
Revival of Their Aboriginal Identity |
| 上田 悠紀 | 「Once Removed」(卒業翻訳) |
| 岡部真由子 | 「世界の中心で、愛を叫ぶ」(卒業翻訳) |

- 久松 弘佳 「アジア系アメリカ人と太平洋諸島系アメリカ人」(卒業翻訳)
- 鎌田 智子 「メキシフォルニア」(卒業翻訳)
- 鈴木 香織 「Tomato Revolution」(卒業翻訳)
- 野寺 敏史 「語学教育における語彙」(卒業翻訳)
- 白尾和香子 「ジュエリーと原石」(卒業翻訳)
- 村山 希 「12 Mysterious Old Women」(卒業翻訳)
- 佐藤 美景 「火星から来た男性、金星から来た女性」(卒業翻訳)
- 佐藤 直子 「オスカーのすべて」(卒業翻訳)
- 田邊 愛子 「リモージュボックスの芸術性」(卒業翻訳)
- 藤原 舞 「One Hundred and One Ways」(卒業翻訳)
- 峯田 響子 「West of Stupid Poodle with Guitar and Dark Glasses」
(The Best American Short Plays 2000-2001 より)
(卒業翻訳)
- 富田 友香 「Meadower's Verse」(卒業翻訳)

ドイツ語学科

- 水野真紀子 ヴァイマル期バウハウスにおける基礎教育についての考察
—色と形の調和的關係—
- 尾木 幹夫 『6月17日通り』にみる東西ドイツの転換点
- 上野 麻海 Antisemitismus in gegenwärtigen Deutschland
—Debatten und Vergangenheitsbewältigung—
- 早川 淳子 ドイツ民謡に聞こえる手工業者の声
—『少年の魔法の角笛』を中心に—
- 小池 亜季 メディア・エコロジー
—日本・ドイツにおける子供を取り巻く映像メディア環境の比較考察—

フランス語学科

- 菊地 令子 Le foulard islamique en France
- 扇谷まどか フランスはなぜイラク戦争に反対したのか—イラク戦争

		を通して見る冷戦後の世界構造—
原	麻子	ワインに見るフランスの民衆と酒文化
高尾	紗織	Les femmes et l'art en Occident
北澤	陽美	Les immigrés et les Français d'origine étrangère en France - leur situation actuelle et leur intégration ; le cas des personnes d'origine maghrébine

イスパニア語学科

大前	友香	La postura española ante la integración europea
黒川	晶子	ラテンアメリカにおける水道事業の民営化
中田	綾子	ヒスパニック系アメリカ人移民の歴史、不法移民とアメリカの移民政策
高橋佐知子		メキシコにおける近代国民国家形成と女性
與語めぐみ		トーレ・デ・ラ・パラダにおけるルーベンス

ロシア語学科

松川	琢哉	イヴァン三世期のロシア正教会—修道院所領論争の起源と展開—
近藤	恭正	日露領土問題
鈴木	頼子	Н.Тэффиのグロテスクの手法—革命期の作品を例に—
安田	透	チェーホフ劇のモチーフと上演方法—戯曲『三人姉妹』を中心に—
桜井	陽介	イヴァン雷帝の実用文書に使用される動詞の時制組織とその用法
坂上	碧	ソ連のユダヤ人出国問題
鈴木	涼子	決闘の文化史
富岡	由佳	マルク・シャガールの作品に見るユダヤ的ロシア文化
山本多恵子		シャミーリの反乱—19世紀のダゲスタン、チェチニヤにおける対ロシア闘争—

ポルトガル語学科

岩本	麻衣子	ブラジルにおける国際観光業—日本とブラジル間の国際
----	-----	---------------------------

観光―

- 大久保 譲 Zona Franca de Manausの発展と可能性
星野さやか 世界で変化するF T A―ラテンアメリカの変貌―
神田エミイ亜希子 Z A R A論―イベリア半島のアパレルメーカーが展開するグローバル戦略―
小池 七海 ブラジル社会に見るコミュニティ活動
丸山紗綾香 飢餓ゼロ計画 F o m e Z e r o
水口加奈子 ブラジルと中国の新しい関係―石油を軸に―
村尾 優子 ―エアコン―ブラジルにおけるその存在と産業的可能性―
西村ひとみ 在日ブラジル人を中心に広がる日本とブラジルの親族網
野中 彩子 ブラジルの日本語教育―日本語教育機関でみる現状―
佐久間真利 ブラジル児童文学―児童文学の歴史と作家アナ・マリア・マシャドの作品にみる―
関 ちひろ フェアトレード―ブラジルを例に見るその現状と可能性―
上村 恵加 世界の食卓を飾る―ブラジルの鶏肉産業と民族系企業Sadia社―
山口 明子 HAVAIANAS―ブラジル・ブランドの世界進出―
山本 駿輔 ブラジル日本移民の勝ち負け抗争に関する考察

国際関係副専攻

- 田中 亜季 新聞社の第三者機関の現状と今後
坂本真実子 カナダにおける移民政策とNGO
―市民が支える移民政策―
神戸久美子 長江流域進出日系企業が中国労働市場に与える影響と改善策
三宅 淳子 変容するヨーロッパの移民
小野明日香 カンボジアUNTACからみるPKOの可能性
増田亜衣子 1977年イスラエル選挙におけるリクード勝利の原因と影響
宮下 夕貴 Japanese Immigrants in the United States as Seen

	from the Utah Nippo
宗友 耕作	イギリスとアメリカの「特別な関係」が「特別」であった理由とその変化
岡部真由子	赤道ギニアと石油
加藤セーラ	英米同盟とイラク戦争
村上 正人	イラク問題とは何か？国際社会の対応とその分析（制度と規範の秩序維持機能）
杉野 誠明	ドイツから見た戦後独仏友好関係 —果たして両国は戦後を通じて一枚岩足りえたか—
岩田 美穂	1970年代における非同盟運動の発展過程 —新国際経済秩序採択に向けて—
糟谷有紀子	教育は貧困者の可能性を拡大できるか
登 健太郎	国際社会における日本国憲法の機能的解釈
齋藤 雪絵	多言語共存スイスにおける変革期か？
市川 桃子	冷戦後におけるアメリカの「ならず者国家」政策
伊藤美和子	中国の地域間経済格差のメカニズムと今後の展望
吉田 真子	The Reinforcement of External Seed Dependency— Will the Agricultural Biotechnology Feed the Hungry?—
池田 直樹	冷戦に見出した国家建設の機会—朴正熙政権の国家戦略—
澤田 美帆	白豪主義の廃止と多文化主義の採用へ至る外交的側面 —戦後オーストラリアの自主外交との関連—
藤原さや香	カリフォルニア州の言語政策 バイリンガル教育廃止と 新しいネイティビズム
中島 有紗	北東アジアの都市間協力ネットワークを探る —新たな国際関係のアクター、都市外交への期待—
谷村 江美	NATOの機能変遷とロシアとの移り行く関係
星川 真樹	再建され行く石造りの家—ジンバブエ—
平山 健次	紛争後の復興支援—日本の対アフリカ支援を例に—
國田 厚子	フランスにおける移民子弟と教育—マグレブ系2世・3世に焦点を当てて—

村山マリサ	ペルーの都市インフォーマル・セクターとその振興策
島田 礼奈	ラテンアメリカ民主主義の定着に関する諸問題と90年代以降の新たな取組み、変化
清水 梢	イラク戦争におけるスペイン政策の移行と米西関係
添ノ澤温子	開発概念の再検討
福田 優子	日ソ国交正常化交渉—報道の視点から—
合田 勇人	第三世界における貧困問題と人権保障の将来的展望
熊澤 慧	日韓歴史認識の研究—互いに新世紀を築くために—
林 邦岳	アジア通貨危機とアジア共通通貨政策に関する研究
須藤トミオアンドレ	世界の大豆需給と遺伝子組み換え大豆生産に関する一考察—ブラジル農業開発と大豆産業を中心に—
田中 理子	ハワイ日系社会とブラジル日系社会比較
碓井 彩子	祭りの存続について —カーニバルと阿波踊りの比較を事例から—

言語学副専攻

渡邊久珠子	Orientations and Textbook Topic Preferences of Japanese Junior High and High School Students: A Pilot Study
米山 麻友	A Challenge for Communicative Learning of English
長房 枝里	The Gerund: Sentential or Non-Sentential ?
高倉 耕二	Syntaxにおける意味解釈とLF
井上ゆきの	Traces and To-Contraction Phenomena in English
飯田 達朗	削除か移動か—比較構文をめぐる議論—
宮本 亮	ドイツ語の冠飾句の階層性について
宮下 麻未	ブラジル・ポルトガル語の変種と社会的階級の関係

アジア文化副専攻

渡邊 瑛莉	カンボジア農民の経済問題に関する一考察—コミュニティの自立的発展に向けて—
白川 幸奈	グルジア・アブハジア紛争検証—国際社会の経験から見

	る今後の展望—
岡村 朋子	沼沢地民、Marsh Arabs—サダム・フセインによる湿地帯の破壊と復興に向けて—
大塚 晃平	市場から考える—ベトナムと日本—
諏訪 尋己	祭りに表れる信仰や価値観—タイのソンクラーン祭り—
今井奈穂子	アジアへの原発輸出 —フィリピンバターン原発閉鎖を例に—
吉木 真耶	東南アジアの華人社会 —マレーシアとタイの華人から見る社会構造—
赤羽野枝子	朱印船時代における港市ホイアンと日本人の国際性

平成16年度大学院外国語学研究科修士論文

外国語学研究科

国際関係論専攻

- 山田 裕史 カンボジアにおける体制移行（1989～1993年）
—人民党の生き残り・適応戦略—
- 初瀬 ゆり WTO紛争解決手続における「特別かつ差異ある待遇」
—その理念と実践—
- 石尾 匠 シンガポールにおける統治理念の変容と開発独裁体制維持
- 藤井真由美 タイのエイズ対策の再評価
—スティグマと差別の視点から—
- 姜 楠 中国のWTO加盟がその農業に及ぼす影響に関する一考察
- 海津 太郎 メキシコのマキラドーラにおける労働者の賃金格差拡大
のメカニズムについて
- 木村 和代 ユネスコ世界遺産条約批准による日本の「文化財概念」
の変容
- 黒木麻衣子 イギリス間接統治の遺産とナイジェリアの南北間対立
—公務員の現地人化政策を中心に—
- 松本 真美 スロベニアとクロアチア共和国独立におけるECの役割
- 小原 敬子 国際機構は国際社会の安定に貢献するか
—ユーゴスラビア紛争における国際連合の効果—
- 岡澤 邦彦 EUにおける市民権概念の拡大
—経由国スペインの対域外出身移民政策を事例として—
- 櫻庭 真理 発展途上国の児童労働に対する先進国を中心とした取り
組み
- 杉田 裕美 「民主主義の赤字問題」の解決策の模索
—経営学的アプローチから—
- 玉置 えみ 社会運動は国境をこえるか？
—日本とベルギーの国際比較研究から—

言語学専攻

- 秋庭 大悟 An analysis of code switching in the Minimalist framework
 雨宮美穂子 高機能自閉症者の単語理解における心像性効果
 —視覚イメージを利用した援助方法の提案—
- 深澤 英美 The Perception of “Lie” and “Uso” of Japanese who have
 Lived Overseas
- Gallego Zambrano 和西翻訳家のビヘイビアー
 訳出の自然性と忠実性をめぐるアンケート
- 細田菜穂子 The effects of L2 proficiency and type of participation
 on task-based vocabulary learning
- 伊集院亮子 聴覚口話法による幼児教育を受けた聴覚障害者の追跡調
 査—質問紙法と面接法による検討—
- 小原美菜子 歌唱における日本語アクセントと旋律の一致性が歌詞の
 聴理解に与える影響について
- 工藤 芳幸 幼児の系列動作学習における擬音語・擬態語の言語化効
 果—3～4歳児を対象に—
- 熊田 広樹 失語症者における文法障害の評価についての言語学的研
 究
- 瀬尾 葉子 失語症者の呼称における意味的障害と音韻的障害の影響
 ～SALA失語症検査を活用して～
- 村井 ふみ 口蓋裂児の発声行動について
 —口蓋形成術前と術後での発声の変化について—
- 野田由希子 Relationships between Reading Strategies in L1 and L2
 大木衣里子 健常児における日本語長音のカテゴリ知覚の発達
 —長音の意識と表記法との発達の関連—
- 佐野真一郎 ON THE NATURE OF SA-INSERTION:
 A FORMAL ANALYSIS OF SYNCHRONIC VARIATION
- 佐藤麻衣子 馴染みのある歌のメロディが失語症者に想起させる言語
 的内容
- 山本 愛実 英語学習者の英語の音韻意識の発達について
 —英語の音韻意識とアルファベットの知識、単語の視覚、
 聴覚理解—

- 湯川 祐子 文章の内容理解における提示方法について
ー小学1・3・5年生の読解処理単位を探るー
- 丹羽 敬子 失語症者におけるピッチパタンの認知
ーイントネーション（言語的プロソディー）認知とメロ
ディ認知の関係ー
- 菊池 栄子 On the constituency of Small Clauses in English
七條真由美 SEARCH FOR THE FACTORS THAT CAUSE
MISUNDERSTANDINGS IN POLITENESS:
OBSERVATIONS ON INTERPRETATION AND
PERCEPTION OF THE UTTERANCES CONDUCTED
BETWEEN NATIVE ADULT JAPANESE

地域研究専攻

- 藤井 朱実 フィリピンから来たダブルの子ども達とその実情
ー東京都23区の政策と教育現場での調査を中心にー
- 平野久仁子 スワミー・ヴィヴェーカーナンダの思想
ーヨーガ及びその実践への寄与ー
- 井野 友美 移住家事労働者への暴力と支援活動
ー半島部マレーシアにおけるインドネシア人メイドを事
例としてー
- 岩佐 晶子 あたしはバジャイ
ー小型車両バジャイから見るジャカルタ社会の変容ー
- 加藤 大地 イスパノアメリカをめぐるホセ=ガオス(José Gaos)の言
説 ー西洋中心主義への反逆とその問題点ー
- 倉内美智子 ヌバ山地における人々の「移動」とアイデンティティ
ー近代スーダンにおける社会変容の事例研究ー
- Lagdameo, Ressurecsion P. Filipino Mothers of Japanese-Filipino
Children in “Multi-cultural Japan”
- 前田 悠 第4世界を活かすタイ北部山地民の出稼ぎ
ー非北部観光地におけるアカの土産品行商ー
- 松浦 史明 13世紀末のアンコール社会
ー『真臘風土記』の再検討を中心にー

- 宮崎 晶子 クメール美術・バイヨン様式の観世音菩薩像における図
像学的研究—バンテアイ・クデイ出土大型石柱との関連性
をめぐって—
- 水谷 裕佳 現代パスクア・ヤキの民族誌的研究
—「耐える人々」から「選ぶ人々」へ—
- 森戸 千尋 ラテンアメリカにおける革命の成功条件
- Nguen Thi My Chi ベトナム経済・社会における日本のODAの役
割—対ベトナムODAの中の発電所建設の事例よ
り—
- 佐藤 晶子 インドネシア海軍の形成とその役割
- 島田 ゆう コスタリカにおける環境政策の形成課程
—実務家の役割を中心に—
- Som Visot A Contribution to the Research Involved in the Conservation
of the Historic Banteay Chhmar Temple in Cambodia
- 鈴木 佑記 客体としてのアンダマン「海民」
—植民地支配期から観光開発の時代にかけて—
- 戸村 浩之 2001年アルゼンチン通貨危機の諸要因
—地方政府に対する連邦からの財源移転を中心に—
- 矢作 俊 12—13世紀アンコール朝の軍事力考察
—武器・思想・社会構造からの追求—

平成16年度大学院外国語学研究科博士号取得者

- | | |
|-------|--|
| 田畑 幸嗣 | アンコール王朝における窯業技術の成立と展開
—タニ窯跡群出土資料の技術論— |
| 桜井三枝子 | 祝祭儀礼をめぐるマヤ系先住民社会の変貌 |